

令和7年度 総務部長マニフェスト

総務部長	久松 希美子
------	--------

【基本方針】

まちづくりの基本理念である「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、久慈市総合計画に掲げる事務事業の確実な進捗を図っていくには、職員が持てる力を結集し組織として取り組んでいく必要があります。

複雑多岐にわたる業務が増えている中、職員一人ひとりが意欲をもって業務に取り組めるよう、職場環境の整備をはじめ、研修機会の確保、選択的週休3日制の導入のほか各種制度の活用によりワークライフバランスを整え、心身の健康を保ち、やりがいをもって職務に精励できる環境づくりに努めます。

また、近年多発化・激甚化している自然災害や、令和4年3月に県が公表した最大クラスの地震津波に備えるため、自助・共助・公助についての意識啓発を行うなど防災対策を進めます。

さらに、年々厳しさを増す市の財政状況について、市民に正しく理解いただくため情報発信に努めるとともに、持続可能な財政運営に努めます。

【重点目標】

1 魅力ある職場づくり	達成状況	一部達成
--------------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
有給休暇の取得日数5日未満者	アウトカム	人	R6年度	39	10	36	28%
男性の育児取得率	アウトカム	%	R6年度	13	30	62.5	208%
超過勤務時間の縮減	アウトカム	時間	R6年度	25,506	24,230	20,655	117%

●取組内容

- 意欲をもって業務に精励できるよう、有給休暇等の有効活用について、庁議や部課長会議等で呼びかけ、有給休暇の取得を促進します。
- 男性の育児休暇取得は、少子化対策やワークライフバランスの実現につながると考えられることから育児休暇取得に向け、対象職員や所属長への働きかけを行います。また、育児休暇のほか各種特別休暇等の制度や新たな支援金制度等の周知に努め男性の育児参加を促します。
- 多様な働き方の実現と超過勤務の縮減などの観点から選択的週休3日制を導入したところであり、制度の定着と超過勤務の縮減を図ります。
- 地球温暖化による夏季の気温上昇への対応及び職員の健康管理等のため空調設備の導入を進めており、CO2排出量削減の意識を持ちながら、働きやすい環境整備に努めます。

●取組結果

- 有給休暇や夏季休暇等、計画的な休暇取得について呼びかけを行いました。有給休暇取得5日未満の者は目標値に達しませんでした。年次有給休暇の取得率は一人平均12.79日となっています。
- 男性の育児参加の重要性は今後も増していくものと捉えており、休暇取得にあたっては、周囲の理解も必要であることから、所属長への働きかけや「休暇のしおり」を更新し制度の周知に努めました。
- 選択的週休3日制については、令和8年2月末現在、延べ約170人が利用しています。
- 超過勤務については20,655時間（選挙事務除く）となり、2月末時点で前年より13.1%の減少となりました。
- 今年度から本庁舎に導入された空調設備について、室温や暑さ指数（WBGT）計等を用い、電力使用量に留意しながら運転を行い、働きやすい環境整備に努めました。

2 地域防災力の強化	達成状況	未達成
-------------------	------	------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
津波避難訓練参加者数	アウトカム	人	R6年度	1,669	2,080	1,678	81%
自主防災組織 組織率	アウトカム	%	R6年度	79.4	100	80.1	80%
安心・安全メール登録者数	アウトカム	人	R6年度	2,019	3,000	2,355	79%
防災士養成数	アウトカム	人	R6年度	48	50	46	92%

●取組内容

- 近年、多発激甚化してきている自然災害から市民の命を守るため、自助・共助・公助の取組を強化し、地域の防災力を高めていく必要があります。
- ①自助
市民一人ひとりの防災に対する意識の向上を図るため、適時適切な情報発信に努めるとともに、避難訓練や防災研修会などを行います。
- ②共助
共助の要である消防団員の確保、自主防災組織の結成・活動の促進、地域防災リーダーとなる防災士の養成に努めます。また、防災士同士の横のつながりや地域との連携の在り方について検討を進めます。
- ③公助
災害に備え、市民への意識啓発、非常食料等の備蓄、避難所の環境整備などに取り組みます。

●取組結果

- 津波避難訓練を実施したほか、児童を対象とした防災キャンプや各団体等の避難訓練を推進する防災アクション週間の取り組みを推進し防災キャンプでは10名、防災アクション週間には21団体334人が参加。日頃からの備えや、イザという時の避難経路の確認や心構えなどの普及に努めました。
- 津波避難エリアの自主防災組織に津波避難訓練時の避難誘導や住民受け入れ対応を行っていたなど実践的な訓練を行い「共助」の強化に努めました。
- 防災士資格については市内で約250人が所持しており、LINEを活用した防災士ネットワークを立ち上げ情報共有を行うと共に、防災士研修会を4回実施。また、各出前講座等に協力いただける防災士もいることから、さらなる連携と有効活用を努めていきたい。
- 出前講座や各地区の市政懇談会で防災に関するワークショップを開催するなど防災意識の啓発に努めました。
- 避難路の簡易舗装1か所、各地域の核となる避難所9か所への水分や非常食等の分散備蓄を行いました。

3 財政の健全化	達成状況	一部達成
-----------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
現年課税分市民税・固定資産税収納率	アウトカム	%	R6年度	94.5	98.3	83.2	85%
財政調整・市債管理基金当初予算取崩額	アウトカム	億円	R7年度	4.2	2.4	6.2	39%
財政状況等について市民への情報発信	アウトプット	回	R6年度	7	9	10	111%

●取組内容

- 市政運営に必要な財源の確保と人口減少等を見据えた持続可能な財政運営を行っていく必要があります。
- ①歳入確保
新たに導入したWEB口座振替受付サービスの周知を図るとともに、預貯金等照会サービスなどを活用し市税の収納率向上に努めます。
- ②歳出削減
財政健全化のためには経常経費の抑制が必須であり全庁的な意識統一を図るとともに、公債費抑制のため、歳入に見合った歳出予算とし、起債残高を減少させ、プライマリーバランスの黒字化を堅持します。
- ③財政状況等の周知
市の財政状況等について市民の理解を得るため、広報等を活用し情報発信に努めます。

●取組結果

- 市税について、広報、SNSなどで納税意欲の向上に資する情報発信に努めており、10月以降は毎月納期のお知らせやキャッシュレス納付のPRを行いました。
- 滞納額が高額とならないよう早めの調査・催告などを行い、収納率の向上に取り組みました。令和8年1月末現在の収納率は83.2%となっています。
- 厳しい財政状況は継続しており、財政健全化の取り組みを計画的に進めています。プライマリーバランスは令和8年度当初予算時点で約4.3億円の黒字となっています。
- 財政状況について、市民向けに広報やSNSで情報発信したほか、議会に対しての説明、職員向けの説明を行い、財政状況の理解促進に努めました。

令和7年度 総合政策部長マニフェスト

総合政策部長	大崎 健司
--------	-------

【基本方針】

総合政策部は、市の横断的な政策に係る企画立案・総合調整をはじめ、行財政改革・自治体DXの推進、地域づくり活動の支援、公共交通の確保、市政情報の発信などを主な業務としています。まちづくりの基本理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の実現に向けて、総合計画の適正な進行管理を行うとともに、そのリーディングプロジェクトとして策定した総合戦略を推進することで少子化、人口減少の抑制に努め、将来にわたって子どもたちの笑顔が絶えないまちづくりに取り組みます。

【重点目標】

1 総合計画、総合戦略の推進							達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
市民満足度アンケートの平均満足度	アウトカム	ポイント	R6年度	2,917	3,000	2,918	97%	
総合計画の進捗率(2月末時点)	アウトカム	%	R6年度	78	85	76	89%	
総合戦略の進捗率(2月末時点)	アウトカム	%	R6年度	81	85	90	106%	
●取組内容								
<p>■ 総合計画の施策と141指標、総合戦略の6つの基本目標と47のKPIを基に進捗状況を把握し、総合計画に掲げる目標達成に向けて取り組みます。</p> <p>①市民満足度アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶市民満足度・重要度を勘案した事業設計を目指す ▶アンケート分析の深化 ▶各課実施のアンケートの集約化 <p>②総合計画・総合戦略の進行管理（KPIの進捗率は2月末時点の進捗状況で集計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶実施計画のローリング、行政評価等での進捗率の把握、目標達成への意識醸成 ▶総合計画基本構想の策定に着手 ▶人口ビジョン及び第3期総合戦略の進捗管理 <p>③広聴広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶市の主要な施策の周知を図るとともに、市民からの提言や要望などを行政運営に反映 				<p>●取組結果</p> <p>■ 総合計画と総合戦略の目標達成に向け、両計画の進捗管理や住民意見の集約と施策への共有を図りましたが、目標は一部達成となりました。引き続き、市民満足度・重要度を勘案した事業設計、指標達成への意識醸成に努めます。</p> <p>①市民満足度アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶昨年度と同様に実施時期を早め、アンケート結果を勘案した予算要求を可能としました。（7月送付、8月回答） ▶アンケート結果の内部資料として、3重クロス集計や回帰分析等を実施しました。 ▶アンケート集約(5件)により、事務の効率化に努めました。 ▶内容精査、オンライン回答など回答率向上に努めます。 <p>②総合計画・総合戦略の進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶第3次総合計画基本構想策定に向けて、市政懇談会及び市民ワークショップ開催による意見集約を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・市政懇談会：9会場、236人 ・市民ワークショップ：全8中学校含む14会場、200人 ▶人口ビジョン及び第3期総合戦略は総合計画を補完するものと位置付けており、進捗については、外部有識者で構成する総合戦略推進協議会で確認をいただいている。 <p>③広聴広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶広報くじの記事の精選や紙面構成の工夫による広報活動及び市長への手紙など、広聴活動にも鋭意努めました。 				

2 行財政改革、ふるさと納税の推進							達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
事業の見直しによる財源確保	アウトカム	億円	R6年度	4.1	2.5	4.1	164%	
ふるさと納税寄附額	アウトカム	億円	R6年度	2.6	4.6	2.3	50%	
ふるさと納税レポート件数	アウトカム	件	R6年度	4,473	5,481	3,208	59%	
商品開発支援件数	アウトカム	件	R6年度	6	6	4	67%	
電子申請手続数	アウトプット	件	R6年度	30	32	45	141%	
●取組内容								
<p>■ 限られた財源を効率よく活用し、持続可能な行政運営を行うため、既存の事業の徹底した見直しを行うとともに、ふるさと納税、企業版ふるさと納税を推進し、財源確保を図ります。</p> <p>①事業見直しの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶事業スクラップの継続、意識醸成の推進 ▶公共施設等総合管理計画、個別施設計画の管理 ▶業務改善の横展開強化 <p>②ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶返礼品の魅力向上及び掲載サイトの充実 <p>③自治体DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶自治体DX推進による行政サービスの向上 				<p>●取組結果</p> <p>■ 寄附額等の目標は達成できませんでしたが、限られた財源で効果の高い事業実施ができるよう、引き続き、財政健全化に向けて財源の確保に鋭意取り組みます。</p> <p>①事業見直しの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶昨年度と同様に枠配分予算編成方式により、事業スクラップを一層推進し、削減目標を達成しました。 ▶公共施設等総合管理計画、公共施設等個別施設計画を3月に改訂、計画に沿った施設の利活用と縮減目標達成に向けて鋭意取り組んでおります。 ▶電子申請受付業務など、これまで業務改善で取り組んだ優良事例を他部署でも導入展開できるように努めます。 <p>②ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ふるさと納税は目標額には届きませんでしたが、天候に左右されない返礼品の主力化やリピーター確保策の展開など、次年度の増額に向けて取り組みを強化しました。 ▶企業版ふるさと納税は営業活動の成果及び企業様のご厚意により、11件、4,200万円を超える寄附をいただきました。 <p>③自治体DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶久慈市DX推進計画に掲げる各課課題の解消に取り組み、電子システム申請手続きについて順調に目標を達成することができました。 				

3 地域力の向上、情報発信、移住定住の促進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
地域づくりワークショップ等の開催	アウトプット	件	R6年度	75	80	93	116%		
地域コミュニティ振興事業等の件数	アウトカム	件	R6年度	24	25	17	68%		
SNSによる市政の情報発信件数	アウトプット	件	R6年度	509	510	540	106%		
移住者数	アウトカム	人	R6年度	37	40	58	145%		
北三陸久慈市ふるさと大使登録者数	アウトカム	人	R6年度	432	460	460	100%		
●取組内容					●取組結果				
<p>■ 各市民センターを拠点に、市民参加による地域づくり活動を推進し、市政及びイベント等の情報発信に努め、交流人口拡大及び移住・定住を促進します。</p> <p>①協働のまちづくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶地域が策定するアクションプランの策定を支援するワークショップ開催 ▶市民センターによる「自主防災組織」結成を支援 ▶地域コミュニティの維持・充実のための活動支援 <p>②積極的な市政の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶HPやSNSを活用した市政情報やイベント情報に触れる機会を増やす <p>③移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶久慈市の魅力発信と移住相談対応の充実 					<p>■ 「いつまでも住み続けたいと思ふまち」を誰もが実感出来るよう、市内各地域の住民が主体的に地域づくり活動に参加し魅力を高め、市内外への情報発信と更なる地域の魅力向上に引き続き取り組みます。</p> <p>①協働のまちづくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶各市民センターと集落支援員及び地域住民が未来づくりワークショップなどを通じた協働を展開し、地域の特色を生かし活性化に向けて取り組んだところであり、併せて自主防災組織結成の支援にも継続して取り組みました。 <p>②積極的な市政の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶SNSを活用しイベント周知をはじめ、市政の情報に触れる機会の拡大に取り組みました。 <p>③移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶移住コーディネーターと連携し、県内外の各種移住イベント参加で久慈市を知っていただくことに努めており、日々の個別相談等の問い合わせにも丁寧に対応いたしました。 				

4 公共交通の維持・利用推進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
公共交通利用促進事業の実施件数	アウトプット	回	R6年度	32	32	28	88%		
公共交通利用促進事業の参加人数	アウトカム	人	R6年度	984	1,000	1,119	112%		
Googleマップでバス経路・時間を検索できることの認知状況割合	アウトカム	%	R6年度	22.8	25.0	36.0	144%		
●取組内容					●取組結果				
<p>■ 地域住民の生活の足である路線バス及び鉄道を維持・存続させるため利用促進運動に取り組みます。</p> <p>①公共交通機関の維持・存続</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶公共交通ネットワーク維持・確保の取り組みを推進 ▶市民バス路線の見直し検討の実施 <p>②分かりやすい・利用しやすい利用促進の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ホームページやSNSを活用した情報発信 ▶高齢者の乗り方支援の展開 <p>③マイレール・マイバス意識醸成のための活動継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶岩手県三陸鉄道強化促進協議会、JR八戸線利用促進協議会及び路線バスの利用促進活動継続 					<p>■ 利用促進事業について概ね順調に実施することが出来たところであり、引き続き公共交通の維持と存続に向けて、マイバス・マイレール意識の醸成に努めてまいります。</p> <p>①公共交通機関の維持・存続</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶公共交通機関の維持・存続に向け、各事業者と連携して、情報発信と利用促進運動に取り組みました。 <p>②分かりやすい・利用しやすい利用促進の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶台風等災害時など、市民バス及び各交通機関の運行情報を適時にSNSを活用したお知らせに努めました。 <p>③マイレール・マイバス意識醸成のための活動継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶関係協議会及び構成市町村等と連携し、利用促進活動を実施し、利用促進に努めました。 				

令和7年度 生活福祉部長マニフェスト

生活福祉部長	夕向 司
--------	------

【基本方針】

「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」「共に支え、元氣と安らぎあるまちづくり」のため、社会的弱者への支援の充実、子育て環境の充実、市民の健康維持・向上、健康寿命の延伸に向けた取組の推進、各種相談支援体制の充実などに取り組みます。

また、持続可能な循環型社会の構築に向け、環境問題に対する意識啓発に努めるとともに、廃棄物の分別収集を徹底し、ごみ排出量の削減に努めます。

少子高齢化、人口減少の状況を中長期的な視点で捉え、各種福祉サービスや市有高齢者施設・子育て支援施設等の在り方について検討を進めます。

【重点目標】

1 高齢者、障がい者等社会的弱者への支援の充実	達成状況	一部達成
--------------------------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
避難行動要支援者台帳登録率	アウトカム	%	R6年度	74.5	76	75.1	99%
個別避難計画策定率	アウトカム	%	R6年度	17.9	40	22.9	57%
障がい理解に向けたイベント等の開催	アウトプット	回	R6年度	2	2	3	150%
高齢者向け出前講座の開催回数	アウトプット	回	R6年度	170	175	154	88%
重度要介護認定率	アウトカム	%	R6年度	6.67	6.20	6.83	91%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 災害時に自力避難が困難な住民の不安を解消するため広報紙等を活用し「避難行動要支援者支援事業」の周知に努めるとともに、民生委員等関係機関と連携し、要支援者の名簿登録率の向上に努めます。 要支援者の円滑な避難に資するための個別避難計画について、介護支援事業所等と連携し策定支援に努めます。 障がいのある人もない人も、共に理解し、尊重しあい支えあえるインクルーシブな社会を構築するため、障がい理解に資するイベント等を開催します。 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、地域のふれあいサロンやいきいき百歳体操の実施を支援し、相互に見守りができる体制整備に努めます。また、孤立化防止、フレイル予防など、健康でいきいきとした生活ができるよう、各種出前講座を開催し、重度要介護認定率の減少に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者支援事業の周知及び民生委員等関係機関と連携し、概ね目標を達成しました。 個別避難計画策定率について、目標値には及ばなかったが、介護支援事業所等と連携を図り、向上に努めました。 障害への理解促進に係る講演会等を開催し、意識醸成に努め、目標回数を達成しました。 障害理解講演会 開催2回 参加者210名 スポーツフェスタ 開催1回 参加者112名 計3回 計322名 重度要介護認定率については目標を下回ったが、出前講座等の開催回数は3月末には前年並みとなる見込みとなっており、認知症対策の周知のため、図書館と連携し、映画上映会や企画展を開催するなど、新たな取り組みを展開しました。 		

2 各種相談支援体制の充実	達成状況	達成
----------------------	------	-----------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
消費生活等にかかる出前講座の開催	アウトカム	人	R6年度	106	212	291	137%
連携強化に向けた勉強会等の開催	アウトカム	人	R6年度	19	20	22	110%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 詐欺被害や消費トラブル等を未然に防ぐため、広報紙等の配布や出前講座を開催するなど、被害防止に努めます。また、警察など関係機関と連携し注意喚起に努めます。 複雑・多様化した支援ニーズに効率的に対応できる包括的・重層的な支援体制検討のため、関係各課や関係機関等との連携を継続するとともに、勉強会等を行います。 相談員等の知識習得・スキルアップのため、研修等への参加を推奨し、相談者に寄り添った丁寧な対応に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 詐欺被害や消費トラブル等を未然に防ぐため、消費生活センターだよりを隔月発行したほか、積極的に出前講座（4回）や消費者力アップ講習会（10回）を開催し、周知啓発に取り組みました。 多重債務者等の支援に向けて、関係各課や関係機関等との連携強化に向けて「お金とこころの安心支援ネットワーク研修会」を開催しました。 相談員等の知識習得・スキルアップのため、研修等へ25回参加しました。 		

3 子育て環境の充実	達成状況	一部達成
-------------------	------	-------------

●重要業績評価指標 (KPI)							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
赤ちゃん訪問実施率	アウトプット	%	R6年度	100.0	100.0	100	100%
地域子育て支援拠点施設の年間平均利用回数	アウトカム	回	R6年度	3.8	4.0	3.3	83%
産後ケア事業(デイサービス型)利用延べ人数	アウトカム	人	R6年度	70	80	79	99%

●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの数の推移を見極めながら、市が運営している保育園等こども子育て支援施設の今後の方向性について検討を進めます。また、教育・保育施設の適切な運営支援に努めます。 「こども家庭センター」設置により、母子保健機能及び児童福祉機能双方の連携強化を図り、サポートプランの作成など充実した一体的な支援に努めます。 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、赤ちゃん訪問の実施、子育て支援センターの利用促進を図るほか、産後ケア事業の充実にも努めます。 5歳児健康診査の実施により、子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣やその他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。 令和8年度から給付制度化する乳児等通園支援制度（こども誰でも通園制度）の実施に向けた体制の構築を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園については、少子化に伴う閉園時期の目安を決め、保育士と共有しました。また、保育士の活躍の場については、保育士を含め協議を進めることとしました。 R7.4月から「こども家庭センター」に統括支援員が配置となり、養育環境や虐待等の課題を抱える家族に対し、母子保健機能・児童福祉機能をさらに連携させ、一体的な支援に取り組むとともに、今年度から新たに不登校児支援にも取り組みを始めました。 赤ちゃん訪問は100%実施できました。 産後ケア事業は、R7年度から助産師2名体制（1名増）として受入れ体制を強化し、2月末まででデイサービス型79人、アウトリーチ型26人に対応することができました。 R7年度から実施している5歳児健診は、R8.2月までで145人/162人（89.5%）が実施しており、こどもの特性の早期発見と適切な支援につなぐことができました。 乳児等通園支援制度（こども誰でも通園制度）は、R8年度からの実施に向けて、実施事業者（7施設）と準備事務を進めています。 		

4 環境対策の推進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
環境に関する学習会等の参加人数	アウトカム	人	R6年度	52	57	110	193%		
ごみ分別に関する勉強会等の参加人数	アウトカム	人	R6年度	11	22	238	1082%		
一人当たりのごみの排出量	アウトカム	kg	R6年度	346.2	339.8	345.4	98%		
●取組内容			●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 暮らしやすく住みよい環境を維持するため、環境問題に関する学習会等を開催し、意識啓発を図ります。 ■ 資源物の収集割合を増加させるため、家庭におけるごみの分別に係る勉強会等を開催します。 ■ 廃棄物の適正な排出・分別方法について、広報紙や出前講座等で周知に努め、ごみ排出量の抑制に取り組めます。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境に関する学習機会として、久慈小学校への出前講座やごみ処理見学会を開催しました。 ■ ごみ分別に係る勉強会として、生き生き百歳体操での出前講座や消費者カアップ講習会との共同開催を行いました。 ■ 廃棄物の適正な排出・分別方法については、ごみ排出量の実績、ごみ排出量の抑制の啓発を目的とした記事を市広報に掲載したほか、産業まつりでゴミ分別や環境に関する啓発に取り組めました。一人当たりのごみ排出量は1月末での実績に基づく推計値ですが、目標値を概ね達成しました。 						

5 保健活動の推進								達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)									
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率		
特定健康診査受診率	アウトカム	%	R6年度	41.4	50.0	38.3	77%		
50歳歯周疾患検診受診率	アウトカム	%	R6年度	14.8	15.5	18.1	117%		
生活習慣病等健康に関する講演会の開催	アウトプット	回	R6年度	1	1	1	100%		
●取組内容			●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種健康診査や各種がん検診等の受診率の向上を図り、疾病の早期発見、早期治療につなげます。 ■ 歯と口腔の健康は、全身の健康を維持する上で重要な役割を果たしていることから、妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期等各ライフステージに応じた歯科検診の実施に努め、口腔の健康づくりの意識醸成に努めます。 ■ 生活習慣病の予防など、健康づくりの知識の普及を図るため講演会等を開催します。 ■ 各種予防接種について、医師会等関係機関と連携し適正な接種体制の確保と接種動員に努めます。また、今年度から予防接種法のB類定期となった帯状疱疹ワクチン接種について、令和11年度までは経過措置として70歳から5歳刻みの方も対象となることから、対象者への個別勧奨と併せ、各種媒体を活用し、広く周知啓発に努めます。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 国保特定健診受診率は38.3%であり、目標には達しませんでした。 ■ 50歳歯周疾患検診受診率は、18.1%であり、目標を達成しました。 ■ 「第3回減塩フェスタinくじ」を医師会ほか関係機関との共催により実施し、184人参加しました。医師の講演会のほか、減塩健康・栄養相談、減塩味噌汁試食を実施し、意識醸成に努めました。 ■ 医師会及び医療機関と連携し、適切な予防接種機会の確保と助成等に取り組めました。また、帯状疱疹ワクチンについても対象者に対する適切な周知に努めました。 						

令和7年度 産業経済部長マニフェスト

産業経済 部長	下山 琢也
---------	-------

【基本方針】

農林水産業は、生産者等の高齢化と担い手不足が深刻化していることから、産業の維持・存続を図るため、担い手の確保と育成に向けて、関係機関と連携して新規就業者の誘導に努めます。

久慈市の魅力発信と交流人口の拡大については、三陸沿岸道路の活用により久慈市への誘客を図るため、道の駅いわて北三陸の情報発信を積極的に行うとともに、来場者をやませ土風館をはじめとする市内観光施設への周遊を促すための連携やイベントの実施を支援します。また、本年度JR東日本の重点共創エリアに指定されていることから、期間中（9月～11月）の観光客誘客促進に努めます。

商工業の振興と中心市街地の活性化に向けては、国際情勢の変化に注視しながら、価格高騰による停滞の影響を最小限に抑えるよう、各種支援制度の周知により活用を促すとともに、中心市街地の活性化に向けて、空き店舗の活用や賑わい創出に向けた各種イベントの開催を支援します。

【重点目標】

1 農林水産業の担い手確保と基盤強化	達成 状況	一部達成
---------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
農業新規就業者	アウトカム	人	R6年度	16	16	10	63%
多面的機能支払交付金活用件数	アウトカム	地区	R6年度	10	10	10	100%
林業新規就業者数	アウトカム	人	R5年度	3	4	4	100%
森林整備支援件数	アウトカム	件	R6年度	3	4	3	75%
水産資源活用等支援事業補助金活用組織数	アウトカム	件	R6年度	8	8	7	88%

●取組内容

- 農業新規就業者については、県や農協等の関係団体と連携し、就農相談会や作業体験、支援制度の周知等を行い、就業者の育成・確保を目指します。また、多面的機能支払交付金の活用については、関係機関と連携し、制度利用の研修会等を開催しながら活用件数の維持を目指します。
- 林業新規就業者については、木の仕事協議会等と連携したPRや業務体験会等の担い手育成活動の支援により、就業者の育成・確保を目指します。林業整備支援については、補助制度の周知を図るとともに、県と連携し計画的な計画的な施策と補助を支援し、健全な森林管理を目指します。
- ウニの深淺移植や養殖施設等の整備を行うための補助金活用について、市漁協の各種会議での説明や生産部の状況の聞き取りを行い、市内各生産部での継続した取り組みを目指します。

●取組結果

- 農業新規就業者は10人にとどまったが、うち2人は自営農家及びその従事者であり、新たな担い手の確保が図られた。多面的機能支払交付金については、10地区とも継続実施しており、多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動が推進されました。
- 林業新規就業者の確保については、「木の仕事協議会」などの緊密な連携により当初の目標を達成することができた。一方で、森林整備支援については、市内の森林従事者への助成を継続したものの、関連する県補助事業の活用実績が減少した影響等により、今年度の申請件数は3件にとどまり目標達成には至りませんでした。
- 市漁協の8生産部のうち7生産部において事業が活用された。磯焼け等の海洋環境の変化による影響を受けつつも、ウニ・アワビの水揚げ数量は前年度を上回る実績を確保しており、水産資源の維持・確保に向けた施策は一定の効果があげられたと捉えています

2 魅力発信と交流人口の拡大	達成 状況	一部達成
-----------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
道の駅いわて北三陸施設利用者数	アウトカム	万人	R6年度	24	27	24	89%
主要観光施設（5施設）入込数	アウトカム	万人	R6年度	99	107	95	89%
体験型観光受入延べ人数	アウトカム	人	R6年度	4,784	4,800	5,051	105%

●取組内容

- 道の駅いわて北三陸のイベント情報の発信、関係町村等と連携したイベントの実施により、集客拡大を図ります。また、秋まつりをはじめとした市内の各種イベントや観光施設等の情報を積極的に発信し、主要観光施設（道の駅くじ、YOMUNOSU、もぐらんぴあ、べっぴんの湯、小袖海女センター）への入込数拡大を図ります。
- 体験型観光について、関係団体とともに積極的な営業を行うとともに、体験内容の充実とブラッシュアップ、アフターフォローに努め、受入数の拡大を図ります。

●取組結果

- 道の駅いわて北三陸については、他の道の駅、観光施設との連携や相互PRに取り組んだが、夏シーズンは昨年度より多かったものの、GWや秋シーズンの集客が少ない状況となった。行楽シーズンに向けた企画やPRに引き続き取り組みます。
- 主要観光施設については、他施設との連携や積極的なPRにより集客に取り組んだが、道の駅いわて北三陸と同様に夏シーズン以外の集客は昨年を下回った。年末年始が好調だった施設もあり、企画やPR方法の検討を行います。
- 体験型観光受入については、仙台市の大規模校や市内の中学校が増加した。4月、5月以外の受け入れ拡大が課題であり、引き続きPRに努めていきます。

3 商工業の振興と中心市街地の活性化	達成 状況	一部達成
---------------------------	----------	-------------

●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
空き店舗活用出店数	アウトカム	件	R5年度	3	3	2	67%
周遊促進イベント支援件数	アウトカム	件	R6年度	13	14	14	100%
観光交流センター「風の館」利用者数	アウトカム	万人	R6年度	22	26	21	81%

●取組内容

- 商工会議所等と連携し、出店者の掘り起こしと空き店舗出店費補助金の活用周知に努め、市街地への出店支援に努めます。
- 各種団体が企画するイベントを、補助金や体制面で支援するとともに、道の駅いわて北三陸との連携を図り、中心市街地の賑わいの創出と観光客の誘客に努めます。

●取組結果

- 空き店舗の出店数については、3店舗を目標としていたが、2店舗にとどまった。商工会議所と連携しながら、補助金のPRや物件のマッチングの取り組みを進めます。
- 市街地の周遊イベント実施数については、土風館やヨムノスのイベントに加え、道の駅との連携イベント等の実施を行い、目標を達成できました。
- 観光交流センターについては、団体型旅行が減少し、個人型旅行が増えてきている状況にあることから、旅行者のニーズや客層を考えた的確な情報発信に努め、利用者の誘客に努めます。

令和7年度 企業立地港湾部長マニフェスト

企業立地港湾部長	谷崎 勉
----------	------

【基本方針】

いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、市政が持続的な発展を続けるよう、市内経済の活性化に取り組みます。

- ①企業誘致及び既立地企業の増設の促進等による雇用創出を図るとともに、学校、企業及び行政が一体となってキャリア教育の充実を図ることで、若い世代が「地元で働き続けたい」と思えるような雇用環境づくりを進めます。
- ②脱炭素社会の構築を目指し、久慈地域エネルギー(株)と連携し、地域に裨益するエネルギーの地産地消に取り組むとともに、市内公共施設及び民間事業所等への再エネ導入の促進に努めます。また、久慈市沖洋上風力発電事業の事業化に向けては、次のステージに着実に進めるよう先行利用者等の理解醸成に取り組みます。
- ③市民の生命と財産を守る久慈港湾口防波堤について、2033（令和15）年度に完成されるよう要望活動を行うとともに、久慈港の利活用環境の改善に取り組みます。

【重点目標】

1 若者定着を促進するための魅力ある産業のまちづくりの推進		達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）			
指標	種類	単位	基準年 基準値 目標値 実績値 達成率
大卒人材等確保に向けた情報共有会	アウトプット	回	R6年度 3 3 100%
大卒人材等確保に向けた情報共有会	アウトカム	社	R6年度 14 16 27 169%
管内新規高卒者の管内就職率（1月末）	アウトカム	%	R6年度 51.0 53.0 38.1 72%
●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内企業が学生の就職動向などを把握できるよう情報共有会を開催するとともに、魅力ある企業づくりを支援しながら、地元就職及び採用後の定着の促進に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶大卒人材等確保に向けた情報共有会（5・7・2月） ■ 学校・企業・行政が一体となって「地域ぐるみ」によるキャリア教育事業を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶教育担当者・事業所担当者研修会（8月） ▶合同職業講演会「キャリアオーケストラ」（10月） ▶合同職業体験「社会体験Week」（11月） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内企業の人材確保・採用活動強化のための情報共有会については、延べ40社・47人の参加を得て3回開催（5・7・2月）したほか、大卒等の採用に取り組む市内企業とともに、高等教育機関等9校を訪問しました。そのほか、個別企業の取組支援として、2月末時点で12社・延べ46回のフォローアップ（アドバイザー派遣）を行いました。 ■ 本年度は、洋野町、野田村及び普代村を交えた広域組織を立ち上げ、まさに「地域ぐるみ」で事業を展開した。学校及び企業の協力を得ながら、7・8月に学校及び受入れ事業所向けの研修会を開催し、10月9日にキャリアオーケストラ（31事業所）、11月中旬に社会体験Weekをそれぞれ実施しました。（132事業所）。 なお、本年2月には、教育機関（小・中・高の教員）、事業所、行政関係者等を対象とした「キャリア教育推進連携シンポジウム」に参加し、事業体験した教員・生徒の発表を交えて、本事業の総括を行いました。 	

2 雇用の場の確保に向けた企業誘致等の推進		達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）			
指標	種類	単位	基準年 基準値 目標値 実績値 達成率
企業立地奨励補助金の活用（新規）	アウトカム	件	R6年度 0 1 0 0%
補助金申請等の支援	アウトプット	件	R6年度 9 9 12 133%
創業件数	アウトカム	件	R6年度 6 3 6 200%
●取組内容		●取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業の誘致、既立地企業や創業希望者へのフォローアップによる経営課題に対する支援を通じて、雇用の創出に取り組めます。特に、岩手県及び岩手県土地開発公社と連携を図り、久慈地区拠点工業団地への企業集積が進むよう取り組みます。また、RE100宣言企業及び再生可能エネルギー関連事業者等が市内への事業進出意欲が高まるよう、企業訪問及び情報交換に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶既立地企業及び創業希望者へのフォローアップ訪問（随時） ▶企業ネットワークいわてへの参加（7月） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 既立地企業へのフォローアップ訪問を通じて把握した経営課題に対して、各種制度の活用などの提案を随時行うとともに、補助金の獲得等に向けて申請書作成等の支援を行いました（12件）。 久慈地区拠点工業団地への企業誘致については、昨年度中に分譲を終えた区画において、宇部煎餅店の第3工場建設を支援し、竣工を実現しました（津波補助金を活用）。 また、洋上風力発電事業におけるサプライチェーン構築を模索する事業者や再エネルギーの活用を模索する事業者との接点を持つべく、首都圏等で開催されたイベントに積極的に参加しました。 	

3 再生可能エネルギーの導入促進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
脱炭素先行地域事業の事業啓発	アウトプット	回	R6年度	4	11	11	100%	
脱炭素先行地域オンサイトPV(公共以外)	アウトカム	件	R6年度	4	83	1	1%	
洋上風力発電事業の市民啓発	アウトプット	回	R6年度	1	2	1	50%	
●取組内容				●取組結果				
<p>■ 脱炭素社会の構築及び再エネ導入促進による地域経済への波及効果に資するため、市が出資する久慈地域エネルギー(株)と連携し、エネルギーの地産地消を推進します。脱炭素先行地域関連事業(山形町)については、地域の再エネ化が促進されるよう住民への普及啓発に努めながら、計画の着実な進捗を図ります。</p> <p>▶脱炭素先行地域関連事業の周知 (自治会長説明：4月) (地域説明：4月以降随時) (広報等を活用した事業PR：3回)</p> <p>■ 久慈市沖洋上風力発電事業の事業化を目指し、国・県、発電事業者及びステークホルダー等との情報交換及び意見交換に努めます。特に、関係漁業団体等の理解醸成に注力します。(随時)</p>				<p>■ 脱炭素先行地域推進事業については、目標達成に向けては事業趣旨の住民理解が不可欠ことから、自治会長を通じたチラシ配布2回、区長、商工会議所会員及び住民向け説明会5回、イベント出展時のアンケート実施、再エネの利用促進に向けた臨戸訪問など、積極的に周知活動を展開しました。</p> <p>また、太陽光発電設備及び蓄電設備の設置においては、初期投資の負担感の軽減を図るなどの対応を進めたものの、財産処分期間への不安等から、大きく計画を下回りました。</p> <p>■ 久慈市沖洋上風力発電事業については、県と連携しながら、先行利用者との対話を重ね、法定協議会への参加意向を把握する取り組みを進めた。</p> <p>また、発電事業者とも、随時、意見交換等を継続しました。</p>				

4 久慈港の整備促進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
国に対する要望活動	アウトプット	回	R6年度	3	3	3	100%	
湾口防波堤見学会	アウトプット	校	R6年度	5	5	6	120%	
久慈港取扱貨物	アウトカム	トン	R6年	305,139	320,400	301,183	94%	
●取組内容				●取組結果				
<p>■ 国の直轄事業により整備が進められている久慈港湾口防波堤(全体延長3,800m、令和15年度完成予定)の整備が着実に進むよう、関係省庁への要望活動を行います。また、湾口防波堤整備事業の重要性の住民理解を深めるため、小中学生を対象とする見学会を開催します。</p> <p>▶国に対する要望(7・10月) ▶見学会(随時)</p> <p>■ 久慈港の取扱貨物量の増加に向けて、荷主や荷役業者の意見等を踏まえながら、港湾管理者である岩手県に対し利活用環境の改善要望を行います。</p> <p>▶県に対する要望(8月)</p> <p>■ 荷主及び荷役事業者が行う取扱量増大に向けた環境整備を支援しながら、久慈港の取扱貨物の増大を目指します。</p>				<p>■ 久慈港湾口防波堤整備事業の着実な進捗を図るため、7・11月に整備要望を行ったほか、久慈市沖での浮体式洋上風力発電事業の実現に向けた要望も行った。また、湾口防波堤整備の意義について理解を深めていただくため、見学会を開催し、本年度は小学校6校で実施しました。</p> <p>■ 久慈港の利用拡大に向けては、荷主や荷役業者との対話を重ねながら、管理者である岩手県に対し具体的な環境整備の要望を行った(統一要望、随時)ほか、荷役業者の設備導入を支援し、久慈港の競争力強化を進めました。</p>				

令和7年度 建設部長マニフェスト

建設部長	高橋 淳史
------	-------

【基本方針】

「市民が安全・安心してらせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」のため、道路、河川、公園、市営住宅などの社会インフラについて計画的な維持管理を行い、その機能の維持に努めます。

市民の利便性や安全性など生活環境の向上のため、効率的かつ効果的な社会インフラの整備を行うとともに、地域振興や人口減少対策に繋がる広域幹線道路等の整備促進に向けて取り組めます。

また、近年激甚化する豪雨等の災害へ対応するため、河川流域全体の関係団体が協働して実施する治水対策「久慈圏域流域治水プロジェクト」に基づき、県と連携を図りながら事前防災対策に取り組みます。

【重点目標】

1 安全で快適な市民生活を確保する社会インフラの維持管理							達成状況	達成
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
橋梁の点検数	アウトプット	橋	-	-	62	62	100%	
橋梁の補修工事箇所数【累計】	アウトプット	橋	R6年度	10	17	17	100%	
遊具の補修、更新基数【累計】	アウトプット	基	R6年度	10	11	12	200%	
●取組内容 ■ 持続可能な社会インフラを目指し、適切かつ計画的な維持管理を実施します。 ①市が管理する橋梁（311橋）の状況を計画的に把握するため、62橋の橋梁点検を実施します。（R6から5カ年計画） ②老朽化した橋梁（更新1：新街橋、修繕5：上の橋、新中の橋、大崎橋、明神橋、栃沢橋、撤去1：止滝橋）の補修工事等を行います。 ③公園施設（久慈川河川公園）の遊具の補修や更新等を行います。		●取組結果 ①62橋の橋梁定期点検を実施しました。 ②老朽化した橋梁7橋（新街橋、上の橋、新中の橋、大崎橋、明神橋、栃沢橋、止滝橋）の補修等の工事を実施しました。（新街橋、大崎橋、明神橋、栃沢橋、止滝橋については一部繰越予定） ③久慈川河川公園の老朽化した遊具2基を更新しました。						

2 市民が安心して暮らせる防災対策の推進

達成状況	一部達成
------	------

●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
河川の堆積土砂撤去箇所数【累計】	アウトプット	河川	R6年度	28	31	32	133%
道路の法面補強面積【累計】	アウトプット	m	R6年度	3,450	3,984	3,951	94%
道路の舗装補修延長【8路線累計】	アウトプット	m	R6年度	5,129	6,909	6,288	65%
道路の冠水対策延長【7路線累計】	アウトプット	m	R6年度	1,582	2,201	2,127	88%
道路の無電柱化延長【累計】	アウトプット	m	R6年度	586	596	600	140%
耐震診断実施件数（耐震改修促進計画）【累計】	アウトカム	戸	R6年度	305	310	308	60%
耐震改修補助件数（耐震改修促進計画）【累計】	アウトカム	戸	R6年度	40	41	41	100%
市民満足度（防災体制の項目）	アウトカム	ポイント	R6年度	3.19	3.20	3.25	102%
●取組内容 ■ 自然災害への予防、浸水対策及び法面崩落対策などの防災対策及び木造住宅の耐震化の促進に取り組めます。 ①令和6年8月豪雨により被災した土木施設（補助18件、単独1件）の年度内完成を目指します。 ②準用河川及び普通河川の堆積土砂撤去（準用河川田沢川ほか2河川）を行い、河川の治水能力の確保に取り組みます。 ③道路法面等の土砂災害防止対策（市道久喜漁港線）や道路の舗装補修（市道滝線ほか2路線）など予防保全対策に取り組めます。 ④豪雨時に生じる道路冠水等（普通河川白山川、市道中の橋栄町線ほか3路線）の解消に取り組めます。 ⑤災害の防止、円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、市道久慈東口線の無電柱化に取り組めます。 ⑥小屋畑川の河川改修事業（県事業）の促進を図られるよう、滞りなく市負担金を予算措置・支出するとともに、市が管理する道路・橋梁等の施設に係る各種協議のほか、地域住民との合意形成に努めます。 ⑦昭和56年5月31日以前に建築された耐震性に劣る一戸建ての木造住宅について、耐震診断（5戸）を実施します。 ⑧耐震診断において補強工事が必要と判断された木造住宅について、耐震改修費用補助（1戸）を実施します。 ⑨新たな土砂災害警戒区域について、県と協力し指定に取り組めます。		●取組結果 ①令和6年8月豪雨により被災した土木施設（補助18件、単独1件）は10月末までに完成しました。 ※補助（普通河川災5件）… 葛形沢川、二又沢川、内間木川2箇所、茅森川 ※補助（市道災13件）…太田線、たもの木線、下戸鎖橋場線、村井線、浅小沢線、卯坂線、間木平線、川又橋場線5箇所、相沢線 ※単独（河川災1件）…普通河川葛形沢川 ②準用河川及び普通河川の堆積土砂撤去を4河川実施しました。 ※準用河川…田沢川、白山川、田子ノ沢川 普通河川…川原屋敷沢川 ③土砂災害防止1路線（久喜漁港線）と舗装補修2路線（滝線、葡萄峰線）の予防保全対策を実施しました。 ④道路冠水等対策として1河川（白山川）と4路線（久慈港19号線、沢山通り線、中の橋栄町線、二子小袖沢線）の整備を実施しました。 ⑤久慈駅東口線の無電柱化について、コスト縮減のための修正設計と共同溝の整備を実施しました。 ⑥小屋畑川広域河川改修事業に係る市負担金について滞りなく予算措置・執行しているところ。また、工事に関連する各種協議も、遅滞なく進んでおり、県の進捗管理のもと工事が進んでいます。なお、工事の進捗状況に合わせて、県が発行する「かわら版」等による住民周知について積極的に関与しているところであり、引き続き地域住民との円滑な合意形成に協力してまいります。 ⑦耐震診断を3戸実施しました。 ⑧耐震改修費用補助を1戸実施しました。 ⑨新たな土砂災害の危険箇所について、基礎調査が完了した76箇所に対し、土砂災害警戒区域の指定について県と協力して取り組みました。					

3 安全・安心で住みよいまちづくりの推進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
市民協働道路等維持補修事業の実施件数【累計】	アウトプット	件	R6年度	246	256	256	100%	
道路照明 (LED化) の更新数【累計】	アウトプット	灯	R6年度	323	362	350	69%	
歩道、歩行空間の整備延長【5路線累計】	アウトプット	m	R6年度	3,149	3,329	3,299	83%	
道路の改良整備延長【5路線累計】	アウトプット	m	R6年度	13,807	13,917	13,891	76%	
市民満足度 (道路整備の項目)	アウトカム	ポイント	R6年度	2.68	3.00	2.75	92%	
●取組内容		●取組結果						
<p>■ 元気と安らぎあふれる街並みの環境整備を推進し、通学児童などの歩行者通行の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るため、歩行環境等の整備に取り組みます。</p> <p>①地域の道路環境等の改善を図るため、市民協働道路等維持補修事業の実施に取り組みます (10箇所)。</p> <p>②道路利用者の安全・安心を確保するため、道路照明の更新 (LED化39灯) に取り組みます。</p> <p>③通学路の安全確保のため、関係機関と連携し、通学路の安全点検を行い、危険箇所の把握に努めます。</p> <p>④安全な歩行空間の確保のため、歩道や歩行空間の整備 (市道上長内日吉町線ほか2路線) を進めます。</p> <p>⑤安全な通行を確保するため、未改良、幅員狭小、急カーブ、急勾配箇所の解消 (市道川又橋場線ほか1路線、市道平庭線ほか2路線) に取り組みます。</p>		<p>①地域の道路環境等の改善を図るため、市民協働道路等維持補修事業を10か所※実施しました。 ※久慈地区4か所、長内地区3か所、小久慈地区1か所、夏井地区2か所</p> <p>②道路利用者の安全・安心を確保するため、道路照明灯のLED化27基※を実施しました。 ※久慈駅東口線、川崎町9号線、下長内旭町線、長小通り線、久慈夏井線、久慈夏井線、久慈駅西口線、野中線 (LED化により照度が確保できたことから2箇所のポツカスバル内照明10基減)</p> <p>③関係機関と連携し、5月及び8月に交通安全施設等総点検を実施したほか、12月に通学路安全推進会議で対策が必要な箇所の検討を行いました。</p> <p>④歩道整備に向けた測量設計1路線 (小久慈線) を実施したほか、歩道や歩行空間の整備2路線 (上長内日吉町線、山岸線) を実施しました。</p> <p>⑤交通危険箇所の解消2路線 (深田線、川又橋場線) の整備を実施しました。</p>						

4 地域振興や人口減少対策に繋がる社会インフラの充実							達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
国に対する要望活動 (国道281号)	アウトプット	回	-	-	2	2	100%	
国に対する要望活動 (三陸沿岸道路)	アウトプット	回	-	-	2	2	100%	
●取組内容		●取組結果						
<p>■ 地域振興や人口減少対策に繋がる広域幹線道路等の早期整備の実現に向けて取り組むとともに、安全安心に資する「久慈圏域流域治水プロジェクト」に基づき、事前防災対策に取り組みます。</p> <p>①国道281号 (案内～戸呂町口間) の改良事業の促進や「岩手県新広域道路交通計画」における「(仮称)久慈内陸道路」に関して、早期の高規格道路としての位置付けを得られるよう要望活動を行います。</p> <p>②久慈川等の主要河川の堤防未整備区間の築堤や高上げ、定期的な河道掘削や流木対策などの治水力向上に関する要望活動を行います。</p> <p>③三陸沿岸道路について、道路整備・利活用の観点から情報収集を行い、さらなる地域の活性化と安全性・防災性向上の方策について探求します。</p>		<p>①国道281号の改良事業及び(仮称)久慈内陸道路の早期の高規格道路としての位置付けに向けて、県への重点事項要望のほか、機会を捉えて期成同盟会としても国等に要望を行いました。今年度は(仮称)下平トンネル築造工事が発注されるなど道路改良工事が着実に進められています。また、荒町地区の無電柱化事業及び大川目町生出町地区の歩道整備についても、工事着手に向けて事業が進んでいます。</p> <p>②久慈川等の主要河川における治水力向上に関し、河川管理者である岩手県に対し、重点事項要望のほか、機会を捉えて適正な維持管理について要望し、今年度、久慈川田屋地区、長内川長内地区において河道掘削が実施され、さらに、夏井川 (三十間橋付近) においても予定されているところです。また、久慈川の大川目地区及び上の橋上流、JR久慈川橋梁上流、長内川の久慈地区、鳥谷川 (閉伊口第7地割) において河川内の支障木の除去を実施予定とされております。</p> <p>③三陸沿岸道路の整備効果や広域連携について沿線市町村と情報共有を図り取り組みを進めるとともに、期成同盟会等を通じて、三陸沿岸道路の機能強化について要望を行いました。また、安全性・防災性の向上の方策については、引き続き関係部署を交え研究を深めています。</p>						

※累計となっている指標の達成率は、(実績値-基準値) / (目標値-基準値) とする

令和7年度 山形総合支所長マニフェスト

山形総合支所長	下斗米 洋之
---------	--------

【基本方針】

地域づくり活動の推進について、山形町の維持・発展のため、住民自らが取り組む地域づくり活動を支援します。山形総合支所移転については、移転後の利便を確保するため、アクセス対策等の検討を進め、地域住民の不安解消に努めます。

短角牛の振興については、生産者と関係機関が一体となり、安心・安全・ヘルシーな赤身肉であることを広く情報発信し、増頭対策及び販売拡大に取り組んでまいります。また、市指定無形民俗文化財である「牛の角突き」の継承に努めるとともに、闘牛を観光資源として更に発展させるように努めます。

観光の振興については、平庭高原、内間木などの観光資源を活用したイベントを開催し、誘客と地域の活性化に取り組めます。特に日本一の白樺美林を有する平庭高原の環境整備を行い白樺林の維持・再生に積極的に取り組めます。さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向け、地域の皆さんと共に様々な事業に取り組めます。

【重点目標】

1 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の推進							達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
委員会実施回数	アウトプット	回	R6年度	5	5	5	100%	
事業化実現数	アウトカム	回	R6年度	7	4	6	150%	
事業参加者数/回	有効性指標	人/回	R6年度	12	20	13	65%	
運営団体の組織化	アウトカム	団体	-	-	1	0	0%	
●取組内容		●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」を推進し、目指すべき将来像を実現するためのワークショップの開催と目標に向けたアクション（行動）への支援に努めます。 また、持続可能な取り組みとするため、住民が主体となる「推進体制」の整備を支援し、地域と一体となった活動を目指します。 ビジョンの実現を目指すため、「久慈溪流の景観活用」「子育てしやすい環境づくり」の事業は継続して取り組みます。また、「若者が楽しめるイベントの実施」や「廃校の活用」など新規事業実施に向け、取り組みを推進します。 やまがたビジョン推進委員会の開催（年5回） 		<ul style="list-style-type: none"> 山形町の目指すべき将来像「やまがたビジョン」推進のため、「やまがたビジョン推進委員会」を5回開催し、ワークショップによる検討を進め、プロジェクトの推進を図りました。また、各ワーキングチームで提案型の「山形町地域振興策の提言」を取りまとめ、令和8年4月に提言書の提出を予定しております。 「やまがたビジョン推進委員会」では、新たなプロジェクトに取り組むために、3つのワーキングチームを編成したほか、既存のワーキングチームを再編した3チームの計6チームでプロジェクトに取り組まれました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶「久慈溪流の景観活用・情報発信」…ウォーキング交流会、草刈り作業（2回）、ドローン体験会 ▶「見守り」…「緊急連絡カード」周知・追加配布 ▶「子育て支援」…子供の居場所づくり、学童保育の新設支援 ▶「ちよこつとお仕事センター」…住民ニーズ調査、近隣地域の現状把握、設立に向けた検討 ▶「みんなが楽しんで参加できるイベント」…イベント開催に向けた検討 ▶「空家・廃校活用」…町内の廃校視察、視察研修（廃校を活用した地域団体によるまちづくりの現状） 						

2 山形総合支所移転に向けた取り組みの推進							達成状況	一部達成
●重要業績評価指標（KPI）								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
対策会議等の開催回数	アウトプット	回	R6年度	3	3	3	100%	
進捗状況の周知	アウトプット	回	-	-	5	3	60%	
地域住民の理解度	アウトカム	%	R6年度	10	90	80	89%	
●取組内容		●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> 移転後の利便性確保のため地域まちづくり委員会、やまがたビジョン推進委員会と協力して課題解決に取り組めます。 「支所移転対策会議」及び作業部会を実施し、利便性の向上を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶山形総合支所移転対策会議の開催（作業部会含む） 山形総合支所の移転について、地域住民の理解を深めるため、定期的に進捗状況をお知らせします。（山形地区行政連絡区長及び山形地域住民対象） 		<ul style="list-style-type: none"> 山形総合支所移転推進事業について情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ▶「やまがたビジョン推進委員会」において、住民説明会の開催状況、説明会で出された意見、令和8年度に取り組む「山形総合支所移転推進事業」について情報提共有を図りました。 「支所移転対策会議作業部会」を3回開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶事務室等の配置の確認 ▶各種システム移設の確認 ▶移転スケジュールの検討 ▶交通対策の検討 「やまがたビジョン推進委員会」において、取りまとめていただいた報告書「山形総合支所移転に関する検討ワークのまとめ」を整理し、山形地区の各区長ととの意見交換を行ったほか、住民説明会を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶住民説明会…8会場、10行政区で開催 ▶説明会参加者245人 「山形総合支所移転推進事業」について、議会への説明を行いました。 						

3 地域資源の振興、発展、継承の推進							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
短角牛消費拡大イベント参加者	アウトカム	人	R 5 年度	455	500	678	136%	
都市交流事業参加者	アウトカム	人	R 5 年度	42	45	37	82%	
闘牛大会の開催	アウトプット	回	R 6 年度	4	4	4	100%	
闘牛大会来場者数	アウトカム	人	R 6 年度	4,300	4,300	3,600	84%	
郷土食フェスタ、未来継承講座参加者	アウトカム	人	R 6 年度	200	200	200	100%	
参加者による評価 (満足度アンケート)	アウトカム	%	R 6 年度	91	95	94	99%	
平庭高原施設の入込数	アウトカム	人	R 6 年度	43,815	45,000	45,070	100%	
●取組内容								
<p>■ 山形村短角牛の振興、闘牛文化の発展、食文化 (まめぶ) の継承のために次の事業に取組みます。</p> <p>①山形村短角牛の生産振興と積極的なPRを行い、販路開拓と消費拡大に努めるとともに、「生産者と消費者の顔の見える関係」の構築維持のため消費者等との交流事業を行います。</p> <p>▶盛岡、八戸及び首都圏 (ホテルニューオータニ) での短角牛消費拡大イベントを開催</p> <p>▶ベゴツアー (都市交流事業) の開催</p> <p>②闘牛大会への集客と更なる知名度の向上と闘牛文化の継承活動に取り組みます。</p> <p>▶闘牛大会の開催 (年4回)</p> <p>▶第29回全国闘牛サミットの開催準備 (令和8年6月開催)</p> <p>▶関係機関との意見交換 (課題解決)</p> <p>③当市の南の玄関口であるとともに、観光資源としての重要拠点である平庭高原についての情報発信を行い、入込数の拡大に取り組みます。</p> <p>④郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向けた事業実施してまいります。</p> <p>▶山形町郷土食保存継承の会とともに各種事業 (未来継承講座、郷土食フェスタ) を展開</p>								
●取組結果								
<p>■ 短角牛消費拡大イベント</p> <p>▶東京都にホテルニューオータニと連携し「いわて短角牛肉フェア」を9月から10月にかけて開催し、期間中570人の皆さまに当地の山形村短角牛を提供していただきました。</p> <p>▶八戸市では「いわて山形村短角牛でナイトin八戸」を開催し、108人の皆さまにご来場いただきました。</p> <p>▶山形村短角牛や郷土食の「まめぶ」に関心をもってもらうため、東京在住の小学生とその保護者を対象にモニターツアーを行いました。</p> <p>▶昨年度から引き続き、市内での山形村短角牛フェアを開催し、市内20店舗から参加していただきました。</p> <p>■ 42回目の開催となったベゴツアーは、首都圏の消費者37人から参加いただきました。大地を守る会会員に加え、オイシックス社員の参加もあり、山形村短角牛の美味さと安全性をPRすることができました。</p> <p>■ 闘牛大会は全4場所を開催し、3,600人からご来場いただきました。また、11月に沖縄県で開催された全国闘牛サミットに当市から40名が参加し、各地域の皆さまとの交流、闘牛文化の発信を行いました。また、令和8年6月に当市で開催される全国闘牛サミットについて、情報発信を含めた開催準備に取り組んでおります。</p> <p>■ 郷土料理「まめぶ」について、山形町郷土食保存継承の会と連携し、まめぶ展・郷土食フェスタを食文化ミュージアムとなっている「おらほーる」で開催し、山形町7地区のまめぶを来場者 (200人) から味わってもらい、国の無形文化財への登録に向け機運を高めました。</p>								

4 平庭高原の環境整備と日本一の白樺美林の再生							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
平庭高原白樺林再生協議会の開催	アウトプット	回	R 6 年度	2	3	3	100%	
くじ☆ラボの開催	アウトプット	回	R 6 年度	3	3	3	100%	
白樺林整備作業の実施	アウトプット	m	R 6 年度	28,000	30,000	28,000	93%	
ボランティア活動参加者数	アウトカム	人	R 6 年度	458	460	439	95%	
白樺林管理計画策定 (令和7年度まで)	アウトプット	%	R 6 年度	50	100	100	100%	
●取組内容								
<p>■ 平庭高原の白樺美林を守るため、平庭高原環境整備ボランティア「くじ☆ラボ」の活動支援やイベントを開催し、白樺林整備促進による適正な環境保全と観光客の誘客に繋がる活動に取り組みます。また、中長期的な白樺林の再生の取り組みとして、「平庭高原白樺林再生協議会」とともに白樺林整備の技術指針に基づいた管理計画を策定するとともに施策を行います。</p> <p>▶白樺林環境整備活動の実施 (くじ☆ラボ)</p> <p>▶セイウチョウなどの民間企業との連携を図り、日本一の白樺美林の環境保全への取組</p> <p>▶国道沿いの危険木除去及び景観整備の取組</p> <p>▶管理計画策定に向けた施策要件の変更協議及び補助事業の検討</p>								
●取組結果								
<p>■ くじ☆ラボでは、市民や市内外の民間企業の皆さまから延べ439人の参加をいただき、白樺林の下草刈りやごみ拾いを2回、植樹活動を1回実施し、日本一の白樺美林の環境保全に取り組みました。また、新たに企業版くじ☆ラボを開催しました。市内2業者からの参加をいただき、下草刈り、倒木の処理を行いました。</p> <p>■ 国道沿いの腐朽した危険木の除去を行い、危険排除と環境整備に取り組みました。</p> <p>■ 平庭高原白樺林再生協議会が取りまとめた報告書を基に「白樺林再生に係る管理計画」を策定しました。今後は施策要件の緩和について、県と連携し林野庁との協議を進め、令和8年度からの伐採を伴う施策に着手してまいります。</p> <p>■ 白樺林再生について、平庭高原白樺林再生協議会を2回、専門部会 (施策部会・利用部会) を1回開催し、施策方法の確認、伐採した白樺の利用方法等について検討しました。</p>								

令和7年度 会計管理者マニフェスト

会計管理者	田面 巧
-------	------

【基本方針】

会計課は、現金・有価証券・物品の出納や保管、支出負担行為・支出命令票に関する審査確認及び決算の調整などを主な業務としています。当市の、健全な行財政運営に資するため、会計事務の適正な執行に努めるとともに、公金の適正管理及び安全・確実な運用を行います。

【重点目標】

1 会計事務の適正な執行							達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
会計事務の留意事項を掲示板に掲載	アウトプット	回	R6年度	18	18	18	100%	
例月現金出納検査での指摘無し	アウトカム	回	R6年度	0	0	0	100%	
●取組内容		●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 会計書類の迅速かつ的確な審査と、遅滞無く正確な支払いを行うために、会計事務に関する留意事項等を職員に周知するとともに、不備のある書類は、直接指導する事で手続きの徹底を図り、事務の効率化を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶年度末・年度初めや出納閉鎖前及び年内払いなどの注意事項等について庁内掲示板（ガルーン）での周知を行う。 ■ 監査委員による「例月現金出納検査」において、指摘事項、ゼロ件を目指します。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ ガルーン掲示を活用し、会計書類の作成に関する注意点等について、周知を図ることができました。また、支払い書類の締切り日を早めに周知し徹底することができました。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ガルーン掲示板の周知目標、18回を達成しました。 ■ 「例月現金出納検査」における指摘事項は、2月までゼロ件となっています。 						

2 公金の適正管理と確実な運用							達成 状況	達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
指定金融機関等の検査実施	アウトプット	機関	R6年度	10	10	10	100%	
収納事務受託者の検査実施	アウトプット	者	R6年度	3	3	3	100%	
●取組内容		●取組結果						
<ul style="list-style-type: none"> ■ 支払い準備金に不足が生じないよう、各課の報告により、常に収入支出見込み額を把握し、必要に応じて関係課と連携しながら繰替運用・一時借入などの対応を行います。また、厳しい財政状況ではありますが、確実な資金運用を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶指定金融機関及び収納代理金融機関の検査実施（11月に各行1回） ▶収納事務受託者の検査実施（11月に3団体以上） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 支払い準備金に不足が生じないよう、各課に25日締切で提出を依頼している、次の月の「収入支出調査」を取り纏めを行い、不足する金額に付いて、基金の繰替え運用（3月下旬で4基金）を行いました。また、資金の運用として、大口定期15件を行いました。3月31日には、資金確保のため、銀行から一時借入（24億円）を予定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ▶指定金融機関等の検査は、計画した10機関について、11月に実施しました。 ▶収納事務受託者（コンビニエンスストア等）の検査は、予定した3者について11月に実施しました。 						

令和7年度 上下水道部長マニフェスト

上下水道部長	笹原 賢二
--------	-------

【基本方針】

上下水道部では、「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」に向けて、市民の生命・財産を守り、安心安全な生活環境を確保するため、水道水の安定供給の確保、適切な汚水処理、大雨による浸水対策に取り組みます。

上下水道事業は、人口減少による収入の減少や災害に強いまちづくりを目指すための施設更新費等が課題であることから、長期的な収支計画により持続可能な経営に努めます。

【重点目標】

1 公営企業の健全な運営		達成状況	一部達成				
●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
水道事業の経営に係る情報交換会の開催	アウトプット	回	R6年度	2	2	2	100%
給水料金現年収納率	アウトカム	%	R7年2月末	98.47	98.48	98.43	99.95%
下水道使用料現年収納率	アウトカム	%	R7年2月末	98.80	98.81	98.63	99.82%
公営企業事業のPRイベント	アウトプット	回	R6年度	1	2	2	100%
●取組内容		●取組結果					
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業関係者で広域連携等の推進を行うための情報交換会を2回以上開催します。 給水料金及び下水道使用料について、催告書の発送などを行い収納率向上に取り組みます。 市民に水道及び下水道事業の理解を深めてもらうため、PRイベントを年2回以上行います。 水道事業において健全経営を行うため経営戦略の見直しを行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 広域連携の推進について、関連3事業体（八戸圏域水道企業団、洋野町、野田村）参加の情報交換会を1回、野田村との情報交換会を1回行い、現状把握と問題点の共有を行いました。 給水料金及び下水道使用料に係る催告書を、2月末時点で11回発送しました。2月末現在の収納率は、給水料金が98.43%、下水道使用料が98.63%と、昨年度を下回りました。 水道及び下水道事業の理解を深めてもらうための事業として、久慈市立図書館での企画展開催と、産業まつりでの出店によりPRを行いました。 水道事業の経営戦略について、市水道事業ビジョン等との計画期間の整合を図るため、1年延伸する見直しを行いました。令和8年度において、令和9年度からの10年間を計画期間とする経営戦略を策定予定です。 					

2 浸水対策の推進		達成状況	一部達成				
●重要業績評価指標（KPI）							
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
雨水排水ポンプ場の大きなトラブル	アウトカム	回	R6年度	0	0	0	100%
新築町地区雨水排水路整備延長【累計】	アウトプット	m	R6年度	151	312	243	57%
●取組内容		●取組結果					
<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水ポンプ場の運転管理を適正に行います。 近年、頻発・激甚化する大雨の内水（浸水）対策として、新築町地区の雨水排水路の整備を実施します。 		<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水ポンプ場の運転管理については、水路に堆積している土砂を撤去し、また、故障箇所は適切に修繕するなど維持管理に努め、大雨の際は支障なく運転しました。 新築町地区の雨水排水路建設工事については、1か所実施しております。 <ul style="list-style-type: none"> ▶中部第8排水区雨水排水路建設その4工事（R7.7月完了・延長91.9m） 新井田地区の雨水排水路建設工事については、2か所実施しております。 <ul style="list-style-type: none"> ▶北部第6排水区雨水排水路建設工事（R8.3月完了・延長79.0m） ▶北部第7排水区雨水排水路建設工事（R8.3月完了・延長67.0m） 					

3 安定した給水体制の確保							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
水質事故	アウトカム	回	R6年度	0	0	0	100%	
水道管漏水調査【延長】	アウトプット	km	R6年度	73	74	66	89%	
半崎・麦生地区管路更新延長【累計】	アウトプット	m	R6年度	1,269	4,400	3,128	59%	
●取組内容								
<ul style="list-style-type: none"> ■ 水質事故を行こさないため、定期的に水質検査を行います。 ■ 漏水調査を行い水道管での事故を防ぎます。 ■ 災害に強い水道網を構築するため、耐震性が低い老朽化した半崎・麦生地区の配水管について管路更新工事を実施します。 				<ul style="list-style-type: none"> ●取組結果 ■ 令和7年度水質検査計画に基づき、定期的に水質検査を行いました。今年度の水質検査結果については、全て水道法で定める水質基準を満たしております。なお、PFAS・PFOAについても水質検査を実施し、水質基準を満たしていることを確認しております。 ■ 巽山第1・第2、平沢配水系において、漏水調査を66km実施しております。 ■ 老朽化した管路の更新については、半崎・麦生地区において配水管更新工事4か所を実施しております。目標延長3,131mとしておりましたが、現地精査の結果1,859.2mとなります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶半崎・麦生地区配水管更新その3工事 (R7.5月完了・延長335.8m) ▶半崎・麦生地区配水管更新その4工事 (R7.11月完了・延長352.8m) ▶半崎・麦生地区配水管更新その5工事 (R7.12月完了・延長786.0m) ▶半崎・麦生地区配水管更新その6工事 (R7.11月完了・延長384.6m) 				

4 快適な污水環境の整備と活用							達成 状況	一部達成
●重要業績評価指標 (KPI)								
指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率	
污水事故	アウトカム	回	R6年度	0	0	0	100%	
広美町地区污水管渠敷設延長【累計】	アウトプット	m	R6年度	1,144	1,534	1,348	52%	
浄化槽設置整備事業補助金交付件数	アウトカム	件	R6年度	33	34	21	62%	
水洗化補助金交付件数	アウトカム	件	R6年度	56	57	37	65%	
●取組内容								
<ul style="list-style-type: none"> ■ 污水事故を起こさないために定期的に水質検査及び維持管理を行います。 ■ 生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、長内町地区の污水管工事を実施します。 ■ 浄化槽設置整備事業補助金及び水洗化補助金を活用することにより下水道接続率向上等のため、対象者に様々な媒体を活用して周知を図ります。 				<ul style="list-style-type: none"> ●取組結果 ■ 定期的な水質検査については、浄化センターにおいて法定水質検査を実施し、基準値以下であることを確認しながら運転しました。 ■ 広美町地区の污水管渠については、1か所実施しております。(繰越予定) <ul style="list-style-type: none"> ▶南部污水管渠その5工事 (R8.3月完了見込み・延長204.0m) ■ 水洗化率向上のため、広報くじへの記事掲載、産業まつりや整備完了地区での普及啓発活動などに努めました。 ■ 浄化槽設置整備事業については、3月末までに21件の補助金交付が完了する見込みです。 ■ 水洗化補助金については、3月末までに37件(公共35件(供用開始3年以内3件、3年経過32件)、漁集排2件)の補助金交付が完了する見込みです。 				

※累計となっている指標の達成率は、(実績値-基準値) / (目標値-基準値) とする

令和7年度 教育部長マニフェスト

教育部長	中居 弘美
------	-------

【基本方針】

久慈市教育振興基本計画に掲げる教育理念「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈～総合力豊かな人材を育てるまちづくり～」の実現に向け、第1期計画で定めた5つの基本方針である「未来をたくましく切り拓く自立した人づくり」「こころさしをもって学ぶ意欲を備えた人づくり」「グローバル化・情報化する社会で活躍できる人づくり」「生涯を通じて主体的に学習やスポーツに親しむ人づくり」「郷土を愛し地域を支え創造する人づくり」に基づき、学校教育の充実、生涯学習、芸術・文化の充実及び生涯スポーツの振興に取り組みます。

1 学校教育の充実

達成状況	達成
------	----

●重要業績評価指標 (KPI)

指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
統合校同士の事前交流	アウトプット	回	R6年度	1	6	12	200%
保護者・地域住民との意見交換会	アウトプット	回	R6年度	1	10	10	100%
ICT機器活用に係る訪問支援	アウトプット	校	R6年度	0	21	21	100%
自己肯定感をもつ児童生徒の割合(小)	アウトカム	%	R6年度	80.0	80.5	81.0	101%
自己肯定感をもつ児童生徒の割合(中)	アウトカム	%	R6年度	76.9	77.0	86.4	112%

●取組内容

- 令和8年4月の円滑な統合に向け、児童生徒が友好的な関係を構築できるよう、統合校同士の事前交流を実施するとともに、保護者・地域住民との意見交換会を実施します。
 - 事前交流の実施(5～3月、中学校2回以上、小学校1回以上)
 - 保護者・地域住民との意見交換会(4～3月、1学区あたり2回以上)
- 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備に取り組みます。
 - 久慈中学校統合に係る環境整備事業(バス停車場、ロータリー、駐車場整備)
 - 設計業務(6月～8月)
 - 改修工事(9月～3月)
 - 久慈湊小学校移転改築事業
 - 造成工事 JR近接範囲の盛土工(7月～)
 - 建築工事 杭工事(8月～)
- ICTを活用した学習活動の充実に向け、各システム及びICT機器の利活用にかかる課題解決に向けた取り組みを実施します。
 - 各小中学校を訪問し課題を集約(6～9月)
 - 課題解決に向けた取り組みの実施(10～3月)
- 児童生徒理解及び生徒指導の充実により、児童生徒に自己肯定感・自己有用感を育みます。
 - 指導主事の学校訪問(年1回)
 - 研究所通信(年10回)
 - webQIUによる児童生徒理解(6月、11月)
 - 心の健康観察(通年)

●取組結果

- 小中学校の適正配置
 - 事前交流については、延べ12回実施し、目標を達成しました。
 - 久慈中グループ 4回 ・久慈小グループ 2回
 - 長内中グループ 4回 ・長内小グループ 2回
 - 保護者・地域住民との意見交換会については、統合校学区の地域で平均2回の意見交換会を実施し、目標を達成しました。
- 学校施設の整備について、以下のとおり実施しました。
 - 久慈中学校統合に係る環境整備事業(バス停車場、ロータリー、駐車場整備)※前倒し実施
 - 設計業務(直営、～5月)
 - 改修工事(6月～10月)
 - 久慈湊小学校移転改築事業
 - 造成工事について、2月にJ Rと工事施工に係る覚書を締結し、線路近接範囲の工事を本格化させました。
 - 建築工事について、9月から杭工事に着手し、校舎等の基礎工事を進めました。
- ICT機器の利活用に向けた取り組みは、市内小中学校全校を訪問し、評価指標の目標値を達成しました。課題解決に向けた取り組みについては、次期児童生徒端末の選定、学校統廃合に係るシステムの移行について実施しました。
 - 各小中学校を訪問し課題を集約(6～9月)
 - 課題解決に向けた取り組みの実施(10～3月)
- 児童生徒の自己肯定感・自己有用感を育むために、指導主事の学校訪問による授業づくり等の支援、教育研究所における教育課題解決に向けた実践、WEBQUや心の健康観察を活用した児童生徒の小さなSOSを見逃さない相談体制の整備により、学級経営や児童生徒理解に資する取組を行うことができました。
 - 指導主事の学校訪問(各校1回以上)
 - 研究所通信(年4回発行)
 - WEBQU(6月、11月)
 - 心の健康観察(通年)

2 生涯学習の充実

達成状況	一部達成
------	------

●重要業績評価指標 (KPI)

指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
出前講座等利用者数	アウトカム	人	R6年度	1,696	1,800	2,043	114%
市民1人当たりの図書貸出数	アウトカム	冊	R6年度	3.8	5.0	3.5	70%
育成・参加型事業の参加者数	アウトカム	人	R6年度	3,301	3,500	3,732	107%
文化財関連事業の参加者数	アウトカム	人	R6年度	580	600	631	105%

●取組内容

- 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、学習機会の提供に努めます。
 - 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施【80回】
 - チラシやHP、各種SNSなどでの周知の充実
- 利用しやすい図書館を目指すため、様々なニーズを持つ利用者に配慮するとともに、青少年の読書活動の推進に取り組みます。
- 市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、市民参加型事業及び育成事業に取り組みます。
 - 第九WS 20回(4月～9月)
 - 合唱WS 7回(1月～3月)
 - 吹奏楽CL 7回(5月～2月)
 - おらほーる演劇WS 約40回(8月～11月)
- 新たに指定した文化財の見学会や、文化財等を活用した展示会の開催により、郷土の歴史・文化を広く周知し、文化財保護意識の醸成を図ります。
 - 文化財の見学会(11月)
 - 文化財の展示会(2月)

●取組結果

- 「生涯学習ボランティアバンク」等の出前講座を実施しました。2月末現在で2,043人の利用者があり目標を達成しました。
 - ボランティアバンク49回、利用者数928人(2月末現在)
 - まちづくり直送便18回、利用者数1,115人
 - 市内小中学校、学童、社会教育団体等へのチラシの配布、HP、SNSでの事業周知を実施しました。
- 図書貸出数は2月末現在で3.5冊(目標未達)
 - 子どもたちの読書活動の推進のため、ワークショップや朗読と演奏を合わせた音楽会、ブックスタートなどを開催しました。
- 市民の主体的な芸術文化活動を促進するため、市民参加型事業及び育成事業に取り組みます。
 - 第九WS 25回(4月～9月) 1,826人
 - 合唱WS 6回(1月～3月) 151人
 - 吹奏楽CL 6回(5月～3月) 780人
 - おらほーる演劇WS 35回(8月～11月) 412人
 - その他(吹奏楽体験会、バックヤードツアー等) 563人 ※3月9日現在(3月末までに約450名増見込)
- 文化財関連事業につきましては、文化財保護意識の醸成のため11月16日に「久慈市文化財めぐり～久慈の俳句の歴史を知る～」を、令和8年2月14日～15日にかけて文化財展「写真で辿る久慈の歴史Part2」を開催し、併せて631人の参加となり目標を達成しました。
 - 文化財の見学会(11月) 10人
 - 文化財の展示会(2月) 621人

3 生涯スポーツの振興

達成状況	一部達成
------	------

●重要業績評価指標 (KPI)

指標	種類	単位	基準年	基準値	目標値	実績値	達成率
あまちゃんマラソン大会参加者数(申込者数)	アウトカム	人	R6年度	1,464	1,500	1,628	109%
おとどけスポーツ教室等の参加者数	アウトカム	人	R6年度	1,232	1,250	1,114	89%
三船十段杯争奪柔道大会の参加者数	アウトカム	人	R6年度	630	630	749	119%

●取組内容

- 「久慈あまちゃんマラソン大会」を9月28日に開催し、当市の魅力を発信します。
 - 10回大会記念行事の開催
- 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的・継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境整備や、生涯スポーツ推進事業の開催に努めます。
 - おとどけスポーツ教室(ニュースポーツ、ウォーキングなど)の実施【38回開催】
- 「柔道のまちづくり」推進のため、各種事業に取り組みます。
 - 三船十段杯争奪柔道大会の開催・早期周知
 - 魅力発信の実施

●取組結果

- SNSやメール配信など積極的にPRを実施し目標数を上回る過去最高の1,628人の申し込みがありました。また、大会前日に10回大会記事として共生型社会とスポーツをテーマに講演会を開催しました。
- 体育協会、市民センターなどと連携しスポーツ教室を開催しました。また、新たな種目を取り入れ親しみやすいよう工夫しました。教室開催数は57回、参加者数は目標値に届きませんでしたが、警報発令に伴い教室を中止したことが主な要因です。
- 三船十段杯は目標数を上回る749人の参加がありました。大会に合わせて実施している柔道教室では新たに熱中症予防の座学を取り入れ内容の充実を図りました。また、柔道に関する関心を高めるため、R8.3.26に柔道のまちづくりに関する講演会を開催し魅力発信に取り組みます。

用語の解説

・重要業績評価指標（KPI）…

事業やプロジェクトなどの目標達成に向けて、その達成度を追跡するために設定する指標
最終的な目標実現までに設置された、中間目標数値

【指標の種類】

・インプット（投入指標）…

事業実施に要した、費用、人、時間などの投入資源の量を表す指標

・アウトプット（活動指標）…

行政が資源を投入し、実施した事業の量を表す評価指標

・アウトカム（成果指標）…

目的に照らして、どのような成果が得られたかを表す評価指標

・効率性指標（インプット・アウトプット比）…

インプットとアウトプットの比で表される指標

・有効性指標（アウトプット・アウトカム比）…

アウトプットとアウトカムの比で表される指標

【指標の例】

生涯スポーツの充実

指標の種類	指標例
インプット	人件費も含め、事業実施に要した費用
アウトプット	スポーツイベントの開催数、選手育成事業の開催数など
アウトカム	イベント参加者数、事業利用者数
効率性指標	円／回、回／円
有効性指標	人／回、回／人